



84112-XML -KOSO ODYSSEY ODYSSEY ABSOLUTE WING SPOILER

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご注意

1. 開封後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損の無いことを確認して下さい。
2. 取り付け前に取り付け車両の型式の確認を行って下さい。

[適合車種]	ODYSSEY / ODYSSEY ABSOLUTE	DBA-RC1・2
		6BA-RC1・2
	ODYSSEY HYBRID	6AA-RC4

[色記号]	無限色	ホンダ色記号	色名
	GO	RP47P	グラマラスモープ・パール
	WO	NH788P	ホワイトオーキッド・パール
	SP	NH704M	スーパーラチナ・メタリック
	MT	NH797M	モダンステール・メタリック
	CB	NH731P	クリスタルブラック・パール
	PE	R543P	プレミアムティーン・ロッソ・パール
	PV	NH820P	プレミアムヴァイナスブラック・パール
	PZ	NH883P	プラチナホワイト・パール
	KP	NH812P	プレミアムスパークルブラック・パール
	ZZ	-	未塗装

※色記号はサービスインフォメーションプレートで確認してください。

3. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。
4. 本製品の加工、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

株式会社 M-TEC 商品事業部 国内販売課

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

【営業時間10:00~17:00（土日・祝日・弊社指定定休日を除く）】

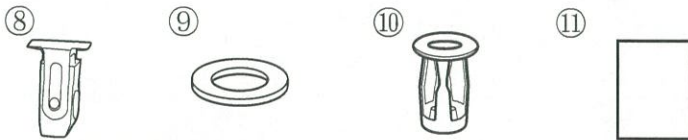
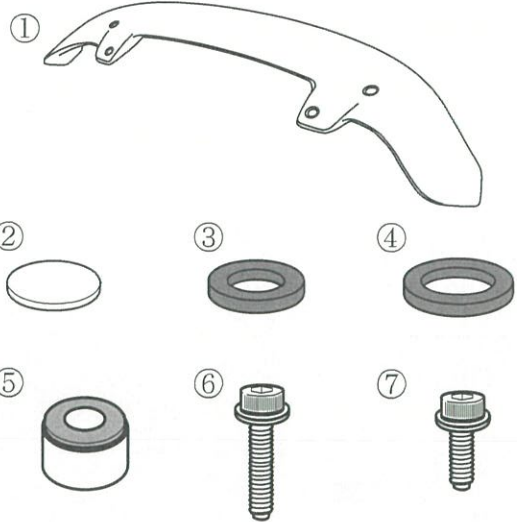
TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

お客様へ

1. ウイング スポイラーが事故や接触等により、破損・変形した場合は、直ちに修復するか取外して下さい。そのままの走行は、事故発生の原因になる恐れがあり、大変危険です。
2. 自動洗車機での洗車は避けて下さい。ウイング スポイラーに無理な力が加わり、破損の原因となることがあります。
3. 定期的にボルト・ナット類のゆるみ、ガタ等を点検し、取付け状態を確認して下さい。

【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	ウイング スポイラー	1
②	キャップ	4
③	パッキン 小	2
④	パッキン 大	2
⑤	カラー	2
⑥	キャップボルト M6×40mm	2
⑦	キャップボルト M6×25mm	2
⑧	ターンナット	2
⑨	平ワッシャー	2
⑩	ジャックナット	2
⑪	型紙	1



未塗装品のみ 未装着品

No.	PARTS NAME.	QTY.
⑫	パッキン 小	2
⑬	クッション	1
⑭	エンブレム	1



【必要工具】

- ・六角レンチ ・ドリルφ3、φ6、φ8、φ11.5、φ12 ・カッター ・ハサミ
- ・イソプロピルアルコール ・ウエス ・水性ペン ・キリ ・マスキングテープ
- ・タッチアップペイント ・ハンドナッター(ポップリベットファスナー製 SC-123J 相当品)

◆◆塗装作業の注意事項◆◆

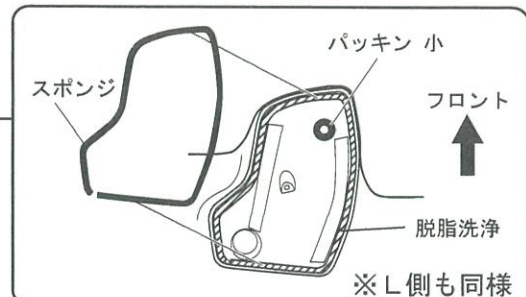
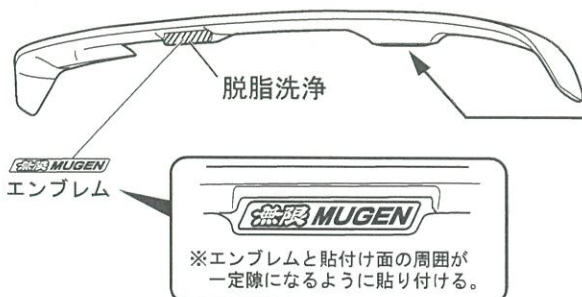
1. 乾燥は、常温乾燥をお勧めします。強制乾燥での焼付上限温度は60℃です。60℃以上に加熱すると変形する場合がありますので、ご注意ください。
2. その他につきましては、塗料メーカーの取扱説明書に従って、有機溶剤中毒および引火事故等の危険防止に努め、作業を行ってください。
3. 遠赤外線機でのスポット乾燥はお止め下さい。

推奨品 塗料：2液製アクリルウレタン樹脂塗料（常温乾燥タイプ）

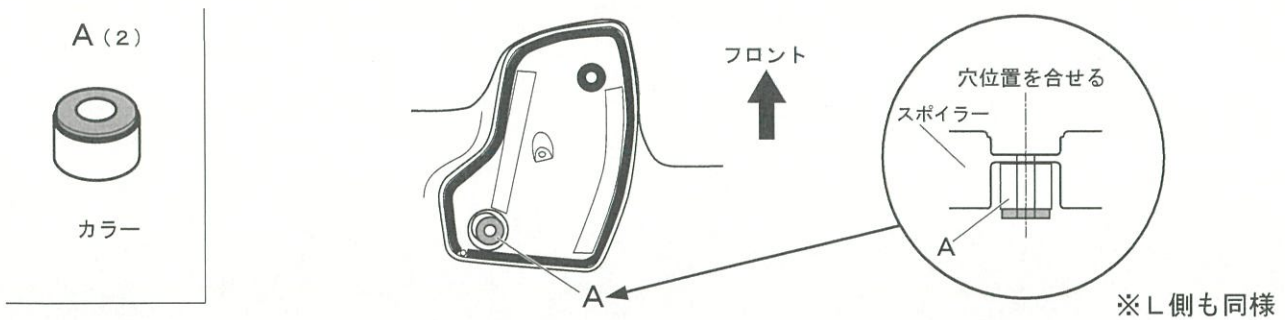
I. 取付準備

- 《注意》 ・ウイング スポイラーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。
 ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
 ・作業は左右同様に行うこと。

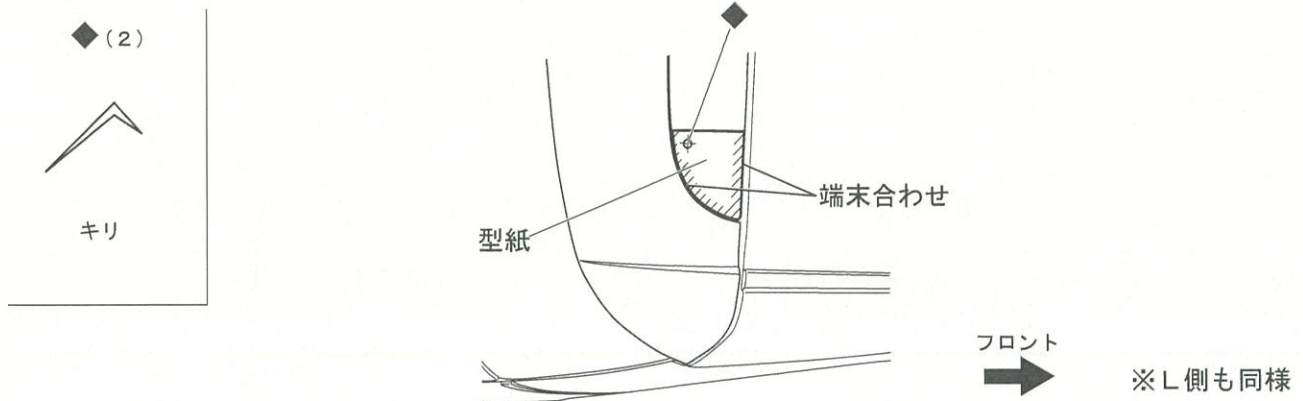
①未塗装品の場合は塗装後、ウイング スポイラー脚部裏面にスポンジ、パッキン 小を貼り付け、ウイング スポイラー後部中央にエンブレム貼り付ける。（貼付け面を脱脂のこと）



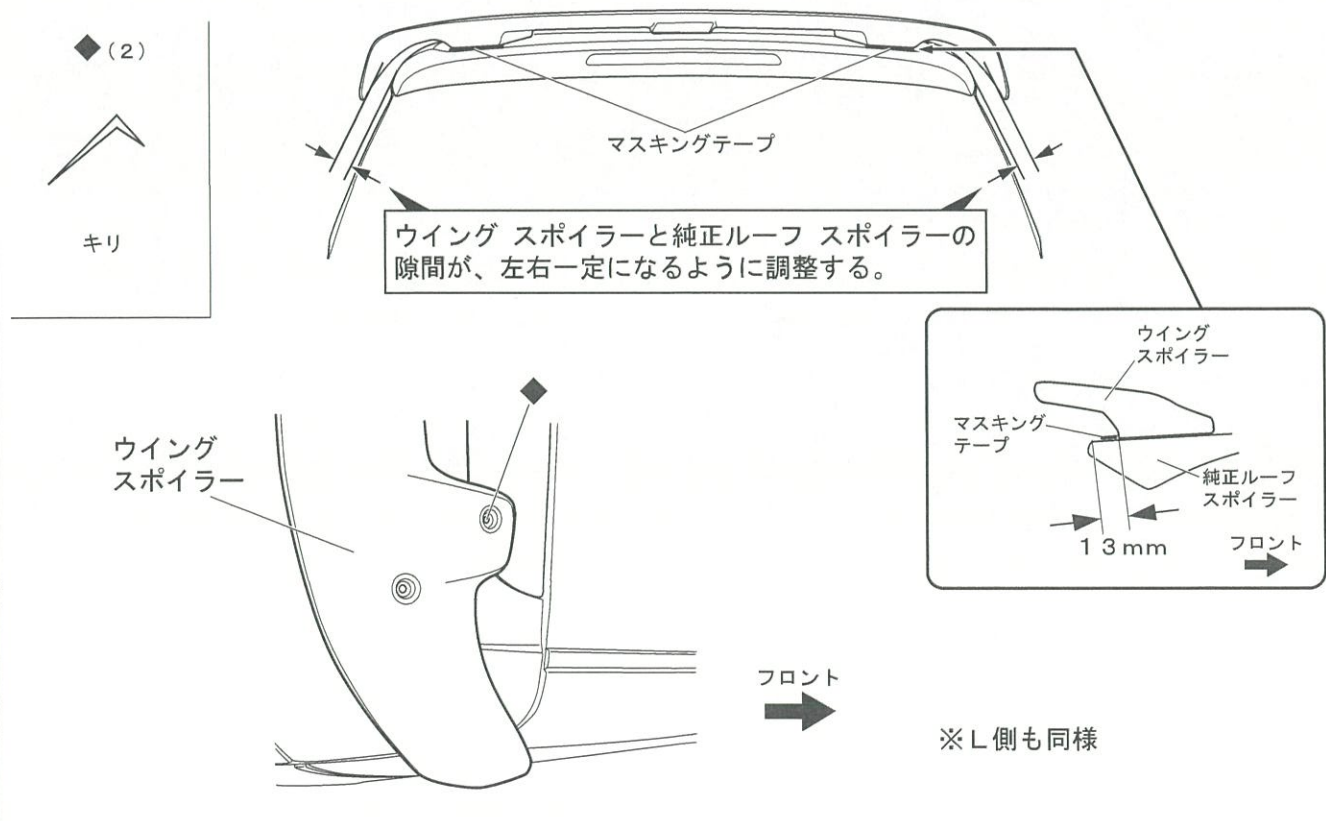
②ウイング スポイラー裏側取り付け面の穴位置にカラー (A) を片側 1 ヶ所 (左右 2 ヶ所) 貼り付ける。(取り付け面を脱脂洗浄すること)



③車両テール ゲート上部板金面に型紙を使用して穴位置を片側 1 ヶ所 (左右 2 ヶ所) キリでマーキングする。



④型紙を剥がしてから車両テール ゲートにウイング スポイラーを乗せて下図のように取り付け位置を計測し、マスキングテープでマーキングし、上部板金面に穴位置をキリでマーキングする。前項でマーキングした穴位置と相違が無いか確認する。

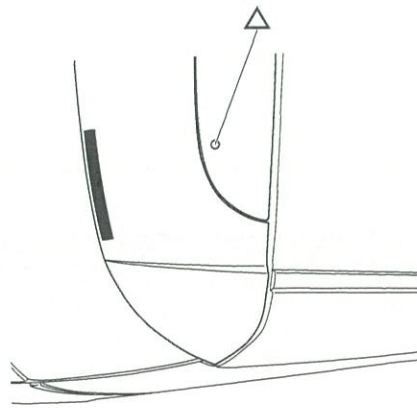


⑤ウイング スポイラーを車両から取り外し、車両テールゲート上部板金面のマーキング位置にφ12の穴をドリルで片側1ヶ所（左右2ヶ所）あける。（穴開け後、切り粉の清掃を行い、端末をタッチアップすること）

△(2)



ドリル
φ3→φ6→
φ8→φ12



フロント



※L側も同様

⑥車両テールゲート上部板金面の穴周囲を脱脂洗浄後、パッキン大(B)を貼り、ターンナット(C)、平ワッシャー(D)を取り付ける。

B(2)



パッキン大

C(2)

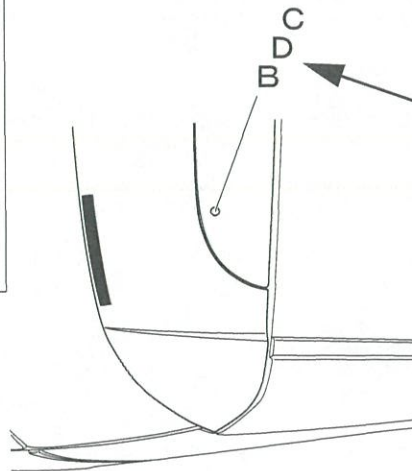


ターンナット

D(2)



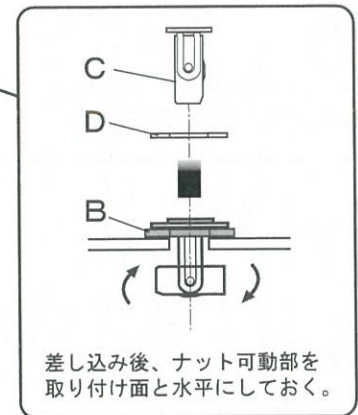
平ワッシャー



フロント



※L側も同様



差し込み後、ナット可動部を取り付け面と水平にしておく。

⑦ウイング スポイラーを車両のマーキング位置に合わせて乗せ、キャップボルト(E)で仮固定する。ウイング スポイラー後側の穴に合わせて、純正ルーフ スポイラー上面にキリで片側1ヶ所（左右2ヶ所）穴位置をマーキングする。

◆(2)

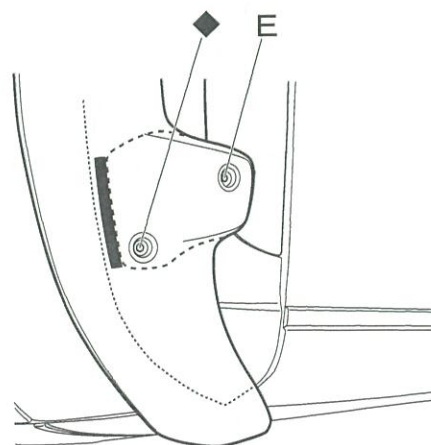


キリ

E(2)



キャップボルト
M6×25mm



フロント



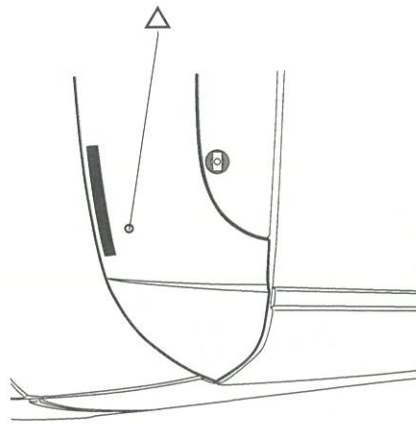
※L側も同様

⑧ウイング スポイラーを車両から取り外し、純正ルーフ スポイラー上面のマーキング位置にφ11.5の穴をドリルで片側1ヶ所（左右2ヶ所）あける。

△(2)



ドリル
φ3→φ6→
φ8→φ11.5



フロント
→

※L側も同様

⑨穴の周囲を脱脂洗浄してからパッキン 小 (F) を貼り、ハンドナッターでジャックナット (G) を取り付ける。

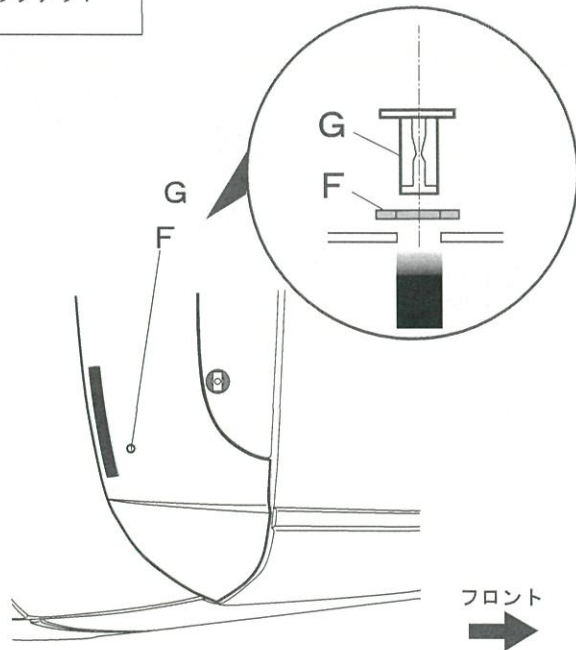
F (2)

G (2)



パッキン 小

ジャックナット



フロント
→

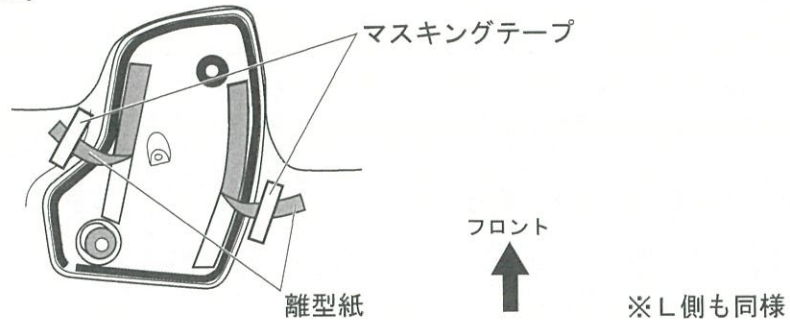
※L側も同様

※ジャックナットを車両に差込む際は、キズが付かない様に注意すること。

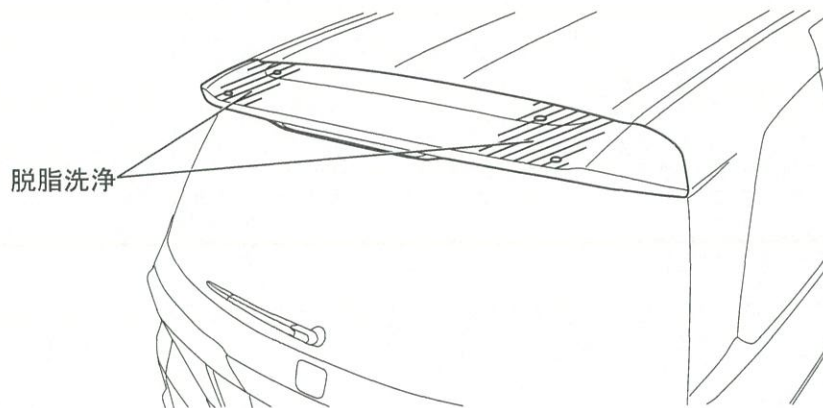
II. ウイング スポイラーの取付

- 《注意》・ウイング スポイラーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。
 ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
 ・作業は左右同様に行うこと。

①ウイング スポイラーの両面テープの離型紙を30mmほど剥がし、表に折り返してマスキングテープで固定する。



②純正ルーフ スポイラーの下図斜線部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。



③ウイング スポイラーを車両に乗せ、キャップボルト (E)、キャップボルト (H) を使用して仮固定する。

E (2)

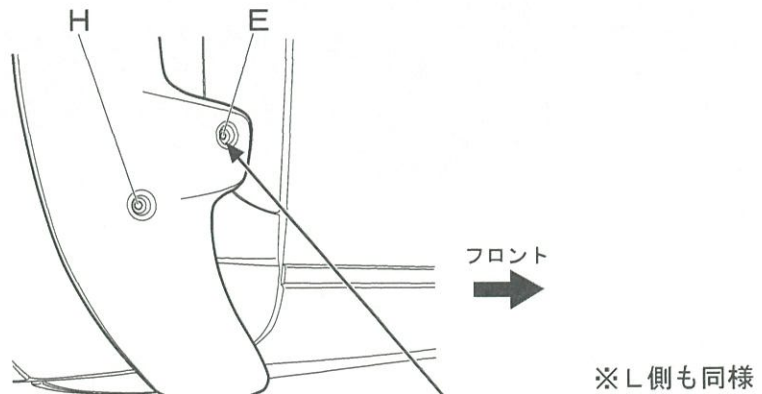


キャップボルト
M6 x 2.5mm

H (2)

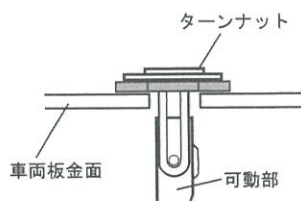


キャップボルト
M6 x 4.0mm

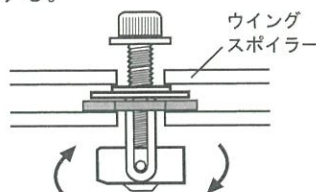


ターンナットの使い方

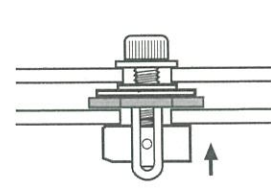
①可動部を立てたまま下穴に差し込む



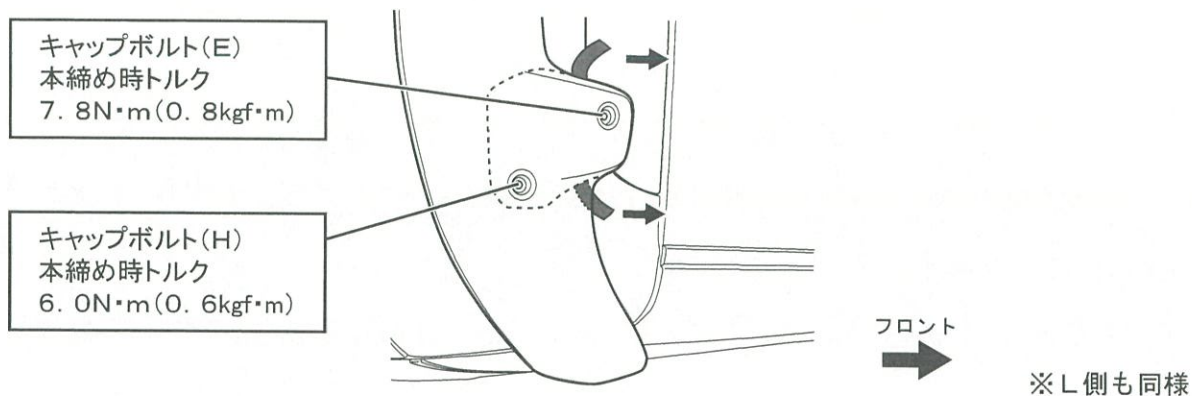
②ボルトをレンチで押しながら2~3回逆転させ、そのまま正転させてボルトを軽く固定する。



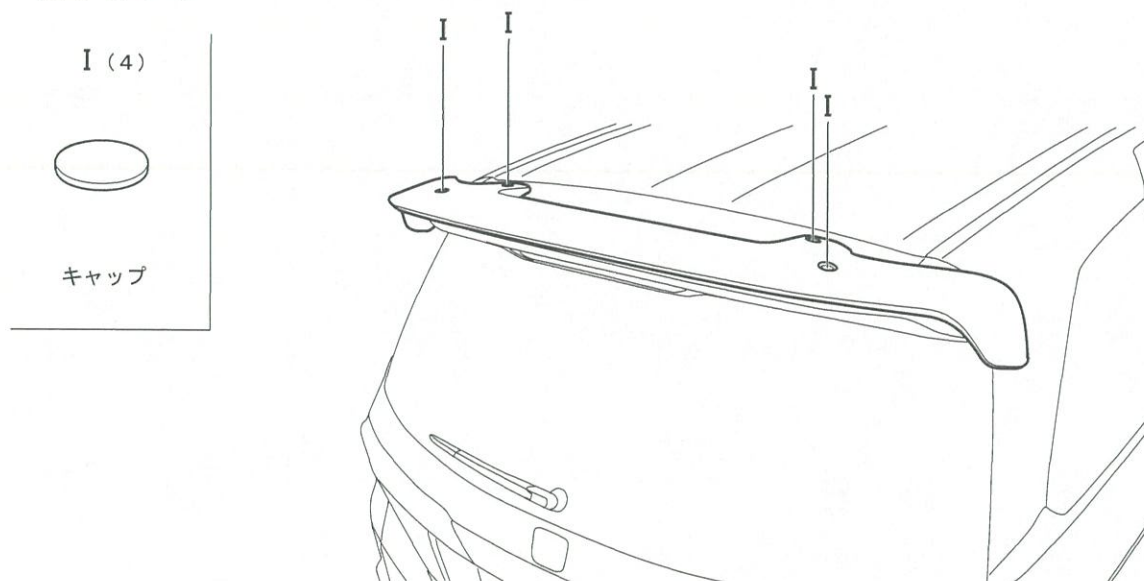
③ボルトを締め込むと可動部が引き込まれ締結される。



- ④ ウィング スポイラーの取り付け位置を確認し、離型紙を矢印の方向に引き抜く様に剥がし、
 圧着してからキャップボルト (E)、キャップボルト (H) を本締めする。
 ※キャップボルト (E)、キャップボルト (H) の各本締めトルク値に注意すること。



- ⑤ ウィング スポイラーのボルト穴部を脱脂洗浄し、キャップ (I) を片側2ヶ所 (左右4ヶ所) 貼り付ける



- ⑥ マーキング用マスキングテープを剥がす。
 ⑦ 各部の取り付け状態が完全か確認する。

XMLウイング スポイラー位置出し用型紙

〈注意〉 型紙を切る際、刃物で怪我をしないように注意して作業を行うこと。

